

商 況

販賣旬報 第156號 昭和6年3月20日

製鐵所販賣部

**小型山形共販組合の成立** 煉原の火の如き勢を以て一氣に鐵鋼統制の殿堂完成に精進する業界は3月20日當所と釜石鑛山株式會社間に諒解成つて50mm未滿の小型山形鋼の共同販賣機關を成立せしめた。小型山形鋼と云へば噸數こそ少いが其處には伸鐵物の進出もあるなど可なり込み入つた事情もある爲め此共販成立によつて小型物は一層安定されるだろうと豫期せられて居る。これによつて残るは愈々中型山形鋼の協定のみとなつた。近い將來に於て成立が傳へられることを一般から鶴首して待たれて居る。

小型山形共販の概要は次の通りである。

- 1、組合員、製鐵所、釜石鑛山株式會社、
- 2、統制品目、50 耗未滿の山形鋼全部にして、一般市販品、官廳用品、規格品、無規格品の全部に亘り、一級品及二級品以下の端物一切を包含す。
- 3、注文の収集其他割當に到る迄の販賣事務の一切は釜石鑛山之に當るものとす、但し年度契約値段による官廳用品及輸出品(關東州を含む)は之の限りにあらず。
- 4、値段は月1回又は數回開催せらるゝ理事會に於て決定するものとす。

**2月積以降先物申込狀況** 1)、12月積までは噸數こそ條鋼合せて67 噸と云ふ貧弱な數字でも、兎も角も先物申込と云ふ形體だけは残つて居たが1月積以降3月積迄は條鋼類の申込の片影だに認めることが出来なかつた。只鋼板(一中板)に別表の通りの僅少な申込があつたのみである。従つて恒例として書いて來た先物申込狀況も暫く休憩して居たのである。

2)、4月積は定期契約も切れた、今月幾何の申込があるかによつて市場の氣配を察知することが出来る爲め一般から可なりの期待を持たれて居た模様である。然るに4月積以降は別項の通り丸鋼は關東鋼材販賣組合から賣り出す事となり、鋼板類は全部それぞれの共販に屬して残る處は型物と、平、角のみとなつた。平、角は未だ定期があるので不相變1 噸の申込もなかつた。其數量は次表の如く、其多寡に就ての批判は見る人の心々にまかせることとする。

2、3月積以降先物申込數量表

	2、3月積	3、4月積	4、5月積
鋼板(1中板)	310	213	(以後共販へ)
等 山	—	—	1,071
工 形	—	—	1,326
溝 形	—	—	435
計	310	213	2,832
線 材	5,070	(以後共販へ)	

**關東鋼材販賣組合第170回理事會** 製鐵所の丸鋼の販賣が統制の一方法として關東鋼材共販組合に委託されて第1回の理事會が組合事務所に開催せられたのは3月12日の事であつた。席上主として問題になつた事は9耗丸鋼の販賣方法と其の値段の事であつたが何れも正式に決定されず一應4社側に協議の上、次回理事會迄に正式回答を得てから決定すると云ふ事になつたと共に製鐵所製品にして組合に委託されたもの、即ち9耗丸鋼、民間分野に屬する丸鋼類及50耗から100耗迄の製鐵所分野に屬する丸鋼類に限り其の算定重量を4月契約より適用するのを時期を早めて共販組合に委託して契約されたものから新カタログ記載の新重量に依つて處理すると云ふ事に決定された。蓋し組合に委託されたものゝ内當分過渡期として二様の重量によるものが出來ると云ふやゝこしい問題を解決する法としては當を得たものと云ふべきか。

**日本線材共販組合の申込と引受** 3月12日締切る。成績は次の通り、案外に申込の多いのは需要調節に向つての工場の食慾増進も主要な原因であらうが、いくらかの思惑も入つたのではあるまいか。5社の割當方法は東京、大阪兩地の申込を別々に按分計算して引受けることゝなつた。

内譯/揚地	申 込			引 受			計
	大阪	東京	名古屋	大阪	東京	名古屋	
神戸製鋼製品	3,560	120	100	3,780	3,200	—	3,200
製鐵所製品	3,815	2,540	—	6,355	2,000	2,000	4,000
計	7,375	2,660	100	10,135	5,200	2,000	7,200

**日本厚板共販組合 理事會** 主として4月積厚板價格に就て協議の爲め東京丸ノ内工業俱樂部に於て理事會開催。

製鐵所、川崎造船、淺野造船、東海鋼業出席、次の件

に就き協議決定する處ありたり。

1)、3月20日より販賣すべき價格(4月積)は外註値段及内地市場の狀勢を考慮して次の通り決定せり。

無規格鋼板 耳付鋼板 定尺鋼板 不定尺鋼板

57圓 60圓 63圓  
(2圓上げ) (据置) (同)

備考 以上は最低値段とす。

1)、2級品以下の端物に就ては將來理事會に於て販賣すること及近く規格制定することに決定した。

**東西市況一保合** 今春來矢繼早に出現する鐵鋼界の各種統制機關は少くとも弱氣の材料にはならぬので其方面では勿論好感を以て迎へられては居るが、あまりに目眩ぐるしいので一寸歸趨に迷つた形である。こんな現象が反映したのか市場は未だ閑散狀態を續けて居るが是等の問題が一段落付いた曉には丁度年度變りにもなる頃であるから相當需要の喚起もあつて、少しは變つた活躍があるものと期待して居る筋もある。

地方としては東北方面が永い間雪に閉ぢ込められて居た關門がそろそろ開かれ初めたので荷物も相當動く様に傳へられて居る。

全般から見ると市中の沈靜の爲相場は 大體に於て保合と見られて居る。

### 東京市況

**丸鋼** 9mm は前旬は共販を買つて聊か緊張したが、建値も豫期した程高くはないらしく感じて一寸頭打ちの姿となつた、然し先行に對しては高値豫想から底意は強いと傳へられて居る。12mm は品薄ではあるが伸鐵物の注入もあつてどうやら間に合ふ爲め保合狀態を續け、ベースものは先行感に強弱二様見方が織り交ぜられて保合つて居る。

**角、平鐵** 存在を忘れられて居る様な角鋼は品薄の爲め原價に比して落さず、平は 2½" 以下は引き続き供給圓滑な爲め軟弱 3" 以上益捨。

**型鋼** 19日突如として小型共販が當所と釜石鐵山との間に成立したが、今日の今日では市場の反映は見られないが相當の反響はあるものと見られて居る。中型山形は出廻り不順調に耽りであるが共販を氣構へて東西共可なりの數量を抱へ込んだとの噂も流布されて居る、大型は不味變らざるも 15×150 は品掠れに稍耽り。不等邊 3×4, 3½×5 は鈍重、其他も聊か下押氣味を傳へられ、溝、工共荷重き不振に腐つたまゝ推移して居る。

**鋼板** 變轉極りなく數奇の運命を辿つて居るのが鋼板である、弱腰だつた 16mm は品掠れに再び三度硬化を傳へられ、2.3mm も品薄に期待を繋がれては居るが外

注安と云ふ厭氣材料が彷徨して居る爲め先行の氣持宜しからず、3.2mm 騰勢を續け 3×6 は9圓1、20錢と上伸したが、4×8, 5×10 は此邊で一寸頭打ちとなつた、4.5mm は強張つては居るが先行を考慮して底意は強弱區々と云はれ 6.0 以上は色々の原因から小甘い商狀と見られて居る。

### 大阪市況

**丸鋼** 既報の如くメーカーの協調宜しきを得たる爲め搗て昨今需要期に入りたることゝ賣行は幾分好轉せし模様にて相場はまだ伸力はないが サイズによりては強含みのものも散見せられ殊に 6mm は供給不足の爲めか 8圓カツチリを唱へられ 9mm は7圓85鐵と稍活況を呈して居る。

**角、平鋼** 角鋼は少量ながら各時共一順行渡りたる様子なるも弗々荷動き模様である急に戻さぬまでも下漚つて來たので人氣はやゝと安堵の態と云はれてゐる。平鋼も亦先般來幾分見直し氣勢にあつて市場品薄と相俟つて 5圓70錢以下の安値物は全く姿を消し概して無難に推移してゐる。

**型鋼** 山形鋼中型大型共に弗々荷動きあり目下手堅く保合つてゐる。工形鋼、溝形鋼共相も變らず軟弱氣配を改めず、只工形鋼 12.5×150×400 丈は當所品 12月渡もの積出遅れの爲めか 8圓と暴騰を見せてゐる。

**鋼板** 1.6mm 2.3mm 共手當薄にて賣手の横暴に任ずの他なく 6mm 以上の厚ものは値上以前の思惑に禍されて一向に不冴。

**線材** 前旬來強含み狀態にありし線材市況も大陸物の値下げにより相場も伸惱みの態といはれてゐる。只目先需要期を控へ且つ昨今製品界も稍々活氣づきたる事としてこれに幾分望みをかけてゐる向きもある。

**鐵力板** 永らく冬の寒さに凍へ切つてゐた我鐵力板界にも既報の如く春は訪れて新芽を吹かんとしてゐる様子である。而し最近歐洲運賃同盟では鐵力板の運賃を 6志7片値下げしたとの報に早くも神經を尖らすあわて者もあるやうであるが大勢は先づ大底をついたと見られてゐる。

### 底見えて何草青む春の水

販賣旬報 第157號 昭和6年4月2日

製鐵所販賣部

**中型山型共販組合成立す** 鋼材統制組織の魁軍を承つた中型山形鋼共販組合が昭和6年3月20日愈々成立を承認された。

此組合の出發點は可なり古く、昨年5月條鋼分野協定の際先づ官民分野に就て再三再四協議せられたが、遂に

纏らず自由分野として競争の渦中に投げられて苦難の時を過したのである。

爾來日 1 日と深まる不況に刺戟されて各種の統制組織の現はるゝに及び、當然此中型山形の組合組織に就ても度々會合もされ協議も重ねられたが、進展捗々しからず陰惨な日を送つて居た。

本年 2 月中旬頃は此共販成立に一縷の曙光を認められてそれが爲め市場も稍安定の経過を辿つたが、其後どの組合組織に於ても兎角問題となり勝ちな比率問題の暗礁に乗り上げ一時は決裂の危惧を抱かれて、市場は復も暗黒世界を現出するのではあるまいかと迄思はれたが、環境は協調の精神を刺戟して遂に急轉直下成立の運びとなつた。

其内容の概要は次の通りである。

1、組合員 日本鋼管株式會社、製鐵所、東海鋼業株式會社

2、統制品目

- (a) 等邊山形鋼 50mm 以上 100mm 以下  
 (b) 不等邊山形鋼 4'×3', 5'×3', 5×3½にして不等邊山形鋼は東海鋼業は製作せざること及日本鋼管は以上 3 寸法以外の不等邊山形を製作せざること。  
 (c) 以上統制に屬する山形鋼は市販品、官廳用品、規格品、自家用品は勿論 2 級品以下の端物類一切を含む。

3、販賣比率

- (a) 不等邊山形鋼、製鐵所 73% 日本鋼管 27%  
 (b) 等邊山形鋼  
 (イ) 6,000 吨に達する迄、製鐵所 31.5% 日本鋼管 45.6% 東海 22.0%  
 (ロ) 6,000 吨を越ゆる場合、超えたる部分の半數を製鐵所、他の半數を日本鋼管 46% 東海 22%  
 (ハ) 7,000 吨を越ゆる場合は別に協議す。  
 (ニ) (イ) (ロ) に於ける比率は 3 ヶ月毎に協議の上變更することを得。

但し以上割當比率中には 2 級以下の端物及自家用品は之を含みます。

4、販賣方法其他細目

此の點に就ては理事會に於て別に協議すること

**黑板厚物統制成る** 旬報第 154 號に書いた厚物の統制に關する凝議以來、當事者の事故等のため停頓のまゝ推移して居た處 3 月 25 日製鐵所出張所に集合協議の結果遂に次の如き決定を見るに至り厚物に關する統制組織正式成立を可決するに到つた。

此組織の成立によつて從來の日本黒鉄共販組合は 13

枚物の薄物部と 3 枚物以下 12 枚物迄の厚物部が出来た事になつた。

1、實施期 4 月 1 日より 2、販賣方法 薄物部の販賣方法に準ずるものとす。

**日本黑板共販組合薄物部理事會—4 月積賣出 4 月積賣出數量及び値段協議の爲め 3 月 24 日東京丸ノ内會館に理事會開催。** 4 社側及び川崎、製鐵、中山、徳山、日鋼出席。

協議に入るに先ち買手側より次記要旨の希望提案があつた。

A 値段及數量 最近内地平板市況稍好調にて業界安定したるやに見ゆれども外注値段は未だ軟調を改めず大陸値段 11 磅 8 志見當なるを以て、此際急速なる値上げは外注を誘致する虞ありて業界の前途に曙光を齎す所以にあらざるやに考へらるゝを以て現在の單なる表面的の市況に眩惑される事なく業界の前途の爲に徹底的に外注品を防遏して組合が斯界の指導者たる所以を發揮する意味より外注値段を參酌の上業者の歸趨を誤らざらしめん事を希望す。

B 最近浪原の需要旺盛にして從來川崎造船所の製出高にては需要の一部を充すに過ぎざる有様にて、斯くては勢ひ外注を激成する結果にもなれば此際他のメーカーにても浪原を製作されんことを要望す。

C 276 枚物は此際申込あればメーカーに於て申込を受けて見ては如何。以上。

次でメーカー側にて賣出數量の協議に移り、4 月が需要月であること及び現在の市況等を考慮に入れ内地向は前月より 3,000 吨増加、輸入は据置として次の通り決定した。

賣出數量	製造會社	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	合計
内 地 向	7,525	1,850	1,325	975	325	12,000	
輸 出 向	1,875	450	375	225	75	3,000	
合 計	9,400	2,300	1,700	1,200	400	15,000	

値段に就ては別項買手側の希望もあり、そのみでなく今日最も市場を悪化せしむるのは何と云ふても輸入で結局は輸入されただけが何時かは市場に浮動して惱の種となると云ふことは 3 分丸の歴史や、厚板問題が好例を示して居るので、今回も市場の要求する數量は賣出噸數を増して調節し値段は市場の好轉の氣勢を殺がずさりと輸入も對抗出来ないと云ふ處で至極穩健な 1 圓上げと云ふ處で落ち着いたのである、又輸出物値段は前回は關稅との間に相當の鞘のある安値であつた爲め稅濟して内地に流入することを刺戟した形跡歴然たるものがあつたので 3 圓 50 錢の値上げをして之を防止することにして

次記の通り決定した。又格差に付製鐵所の分は 1 圓縮少された

内地向 3×6 板 (263 枚 1 艘に付)

川崎 製鐵 中山 徳山 日鋼

146圓(1圓上げ) 144.50 (同)

浪原 30''×6' 艘 2 圓 50 錢引 30''×7.' 30''×8' は値引なし。

輸出向 (268 枚 1 艘に付)

川崎 製鐵 中山 徳山 日鋼

113圓50 111.50 112.50

浪原の値引内地向同様

買手側より提出された外注値段其他次の如し。

C. I. F. 河岸着 Ex. 2/8-3/8  
£11-8-0 143.83

猶冒頭の買手側希望の A は賣出値段に見る通りで、B に付ては川崎以外の各社も試作中であるし、製鐵所も工場と打ち合せ成る可く希望に沿ふべしとの事であつた。

C 項即ち艘 280 枚物に就ては斯る薄き物は消費者を不利益にし、益々鍍板の聲價を下げるのみならず輸入されたと云ふ聲こそ大であるが實際は 1 月に大阪に僅に 200 艘許りの輸入があつたのみ決して恐れる必要はない、それを風聲鶴唳で、單に 272 枚物の中に突つ込んで胡魔化し賣りをされる材料として賣り出す必要はないと云ふものと、所謂何んてやらの法則で結局悪貨は良貨を驅逐するのであるから市場が要求するなら進んで之を作るに何が悪いことがあるか、薄いと云へば 272 枚物も已に薄いので、50 歩 100 歩である、どうせ將來 280 枚物に移るのなら海外に向つて日本でも 280 枚物が立派に出來ると云ふ處を見せる必要があるから作る方がよからう、市場がそれを何に使ふと関係はないではないか、何れは使用分科が決定されるまでの過渡時代の事であると云ふ議論と其中間を歩いた處の市場の歸趨を知る必要と海外に向つて日本でも充分出來ると云ふことを知らず爲め若干作つて見たらどうだろうと云ふ妥協案が出て、論難時を久ふしたが、今月は 3 圓 50 錢のエキストラで注文があれば極少量のものを造り來月また何とかしよう云ふ事で歸著した。

黑板共販組合薄物部理事會 - 4 月積締切發表會 -

日時 3 月 27 日 場所 大阪電氣俱樂部

流石 4 月の需要期、驚くなかれ申込 30,000 艘と云ふ物凄い殺到振、世が世ならば別に驚く筋合でもなからうが前月迄は 9,000 艘の賣出しにやつとこさと集まつて來る注文を有難がつて頂戴してゐた身上だ、悪い氣持はしないと云ふもの。

然し需要期とは云ひ乍ら、のほかに受けては切角好調

子の市場を害ふし、今後の事も考へずばなるまいと言ふので大體賣出艘數を標準として次の如く引受ける事にした。

内地向

	賣出艘數	申込艘數	引受艘數
川崎	7,525	16,835	5,752
製鐵	1,650	3,950	2,400
中山	1,325	2,025	1,325
徳山	975	970	975
日鋼	325	325	325
計	12,000	30,405	12,600

輸出向

	賣出艘數	申込艘數	引受艘數
川崎	1,875	4,640	1,880 (内 300 艘先物既契約)
製鐵	450	900	500 (内 400 艘先物既契約)
中山	375	325	345
徳山	225	200	200
日鋼	75	75	75
計	3,000	6,140	3,000

輸出の先物として別に次の申込があつた

川崎もの 5 月渡 450 艘

日本黑板共販厚物部第一回理事會

— 販賣方法と 4 月積賣出し —

日時 昭和 6 年 3 月 27 日

場所 大阪電氣俱樂部

出席者 川崎、徳山、製鐵、日鋼、中山及四社側

議事 先づ厚物の販賣方法を如何にすべきやの問題を 4 社側へ提案した。之に對し 4 社側希望意見は

a 取扱店 次記事項を除きては 4 社平等に願度し。

(イ) 徳山、日鋼製品は從來の關係より徳山は岩井、日鋼は安宅に於て取扱ふことに願度し。

(ロ) 川崎の 3 枚物より 7 枚物迄は岩井より從來の關係にて岩井一手にて販賣することに願度しと申出であり他の 3 社は 4 社平等にしたしとの希望あり理事會にて決裁せられたし。

b 販賣方法 薄物部と同様の賣出方法を採られたし。

c 受渡重量、口錢其他の點に就て統一を採られたし。

d 販賣値段に就ては

(イ) 川崎物をベースとして建値すること

(ロ) 東西同値段にすること

(ハ) 値段は 10 枚物艘 125 圓が適當なり

e 毎月 6 枚物より 10 枚物迄にて數量 4、500 艘見當の輸出をせられたし。

f 特種品質、特種寸法物に就ては 4 社を通じて隨時賣出の方法を採られたし。

以上に對し理事會は協議の結果次の如く決定し 4 社に發表せり。

1. 販賣方法は薄物部同様の賣出しをなす。但し賣出數量を申込數量の間に過不足ある場合には之を整理する意味より申込不足のメーカー製品のみを第2回賣出しとして賣出すこと。

2. 事務所は薄物部同様川崎造船所製鐵工場に置き申込は共販事務所宛のこと。

3. 取扱店に關しては4社の希望を容れ次の如くす。

4 社を指定販賣人とす、但し徳山製品は岩井商店、日鋼製品は安宅商會に限り取扱ふこととし他の3社は直接申込むことを得ず。

指定販賣人の外に従來各メーカーに於て取引を爲せる者の注文にて必要なるものに對しては各メーカーに於て取纏め締切日迄に共販事務所に申込むこと。

4. 4月積賣出數量及値段次の如し

1)、賣出噸數

品名	A(10枚物)	B(9,8,7,6枚物)	C(5,4,3枚物)	合計
賣出噸數	3,200噸	1,800	1,200	6,200

2)、値段 市場値段及外注を參酌し次の通り決定した。

品目	3枚物	4枚物	5枚物	6枚物	7枚物
噸當値段	96圓	102圓	105圓	115圓	120圓
品目	8枚物	9枚物	10枚物	11枚物	12枚物
噸當値段	122圓	124圓	128圓	132圓	138圓

各社の格差(川崎を標準として)

	製鐵	徳山	日鋼	中山
A級	3圓下	なし	1圓下	3圓下
B級	5圓下	1圓上	1圓下	5圓下
C級	賣出なし	2圓上	1圓下	3圓下

5 東西市場の格差次の如し。

A級は 同値 B、C級は東京1圓増

6. 其の他決定されたる細目次の如し。

(a) 重量計算は1束50噸として受渡重量が其より重き時は切捨て、2.5%以上不足の場合は其差額だけを割戻すものとす。

(b) 輸出は當分行はず追て考慮す。

(c) 締切3月31日 發表4月1日

(d) 特種品質、特種寸法は4社を通じて隨時賣出の方法に依る。當日提出されたる外注値段次の如し。

品名	安宅	岩井	三菱
	c. f.	c. f.	
3 sheets	6-12-6	6-12-0	—
4	6-16-6	7-2-0	—
5	7-16-6	7-13-6	—
6	8-5-6	8-4-0	9-5-6 (英國commet)
7	8-15-6	8-11-6	—
8	8-15-6	8-17-0	—
9	9-0-6	9-8-6	9-18-0 (英國commet)
10	9-5-6	10-5-6	{ 9-15-0 10-5-9 (英國commet)
11	9-18-6	—	—
12	16-6-0	—	—

備考 1. Insurance 1% 2. 註釋なきものは總て「大陸物」値段とす。

中型山形鋼共販組合第一回理事會—4月積賣出し。組合成立しての第1回理事會を開く。

日時、場所 3月30日製鐵所東京出張所

出席者 日本鋼管、製鐵所、東海鋼業

議事 販賣の具體的方法に付き協議する所有り結局先物並に現物賣の方法をとることとして直に先物を賣出した。

1)、4月積先物賣出數量

製鐵所	日本鋼管	東海鋼業	計
約 2,000噸	約 500	約 500	3,000

2)、申込締切

4月6日正午迄に到着する様製鐵所販賣部内共販事務所に申込むこと。

3)、製品は賣手オプションのこと

4)、揚地、揚地は「京濱、伊勢灣、阪神及び關門」の4箇所に分類して申込のこと。

小型山形鋼共販組合第一回理事會—4月積賣出し。

日時、場所 3月30日、製鐵所東京出張所

出席者 釜石鐵山、製鐵

議事 次記事項に就き協議決定せり。

1)、販賣方法は當分の間關商内とすること、Hつ4社以外には販賣せざること。

2)、事務所は釜石鐵山株式會社内に置く。

參考 外注値段次の如し(ハンブルグ3月26日入電)

$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{4}''$	5-2-9	¥ 70.59 (Ex. $\frac{1}{2}\%$ - $\frac{3}{8}\%$ )
$\frac{1}{8}'' \times 1''$	5-0-3	69.37
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{4}''$	4-18-3	68.40
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{2}''$	4-18-9	68.65
$\frac{3}{16}'' \times 1\frac{1}{4}''$	4-18-3	68.40
$\frac{3}{16}'' \times 1\frac{1}{2}''$	4-15-3	66.95
$\frac{3}{16}'' \times 1\frac{3}{4}''$	4-13-9	66.22
$\frac{1}{4}'' \times 1\frac{1}{2}''$	4-15-3	66.95
$\frac{1}{4}'' \times 1\frac{3}{4}''$	4-13-9	96.22

關東鋼材販賣組合理事會

日時 3月27日

場所 東京丸ノ内、丸ビル

豫て當所より關東鋼材へ販賣を委託したる丸鋼中9粘に就ては本日の理事會に於て4社にて全部引受のことに決定した。

ブラツセル齋藤囑託入電 2月28日

國際粗鋼組合は巴里に於ける會合に於て3月の生産高は前月通りとし4月よりの更新の協定に關しては何等の決定を見なかつた、次の會合は多分3月11日に行はれるであらう。

3月14日 暫く市場をはづして居たが市場には何の變りもなかつた。

3月20日 3月12日デユツセルドルフに於て會合

したる國際粗鋼組合は先月通りの生産を 6 月 30 日迄繼續する事を決定した。外其の更新に關しては何等議決する所がなかつた。市場は安定しつゝある模様で不變。

3 月 31 日 國際粗鋼組合は巴里の會合に於て各團體の總輸出數量を決定しようと言ふ、白耳義の提議を承認した、各月の割當基本數量は次會に於て決定の筈である。市場氣配良好。

日時	品名	棒 鋼	大型山形	中小型山形	工 形 (B, S)	鋼 板 (3/16")
2 月 28 日		3-17-9	3-17-0	3-18-6	3-9-0	4-10-0
3 月 14 日		3-15-0	3-14-0	3-16-0	3-9-0	4- 8-0
3 月 20 日		3-15-0	3-14-0	3-16-0	3-9-0	4- 8-0
3 月 31 日		3-16-0	3-15-0	3-16-6	3-9-0	4- 8-0

(F, O, B) アントワープ

**東西市況**— 愁眉を開く 海外安、内地生産増加、金解禁、不景氣とあらゆる悪材料の集中により、暗澹たる商狀を繼續すること 2 歳、蓋し此忍苦の 2 年は 10 年の歳月の長きを思はしめるものがあつたが此 3 月 20 日頃を轉機として市場は漸く全般的に大底を 一步脱したかの思を懐く様に感ぜられて來たと傳へられて居る。

此朗らかな空氣こそ何よりも大切なものである、悪い時には變らぬと云ひ乍ら實際の値段は、少しづつ下つて居るが、今日の市場では前旬と大して變らぬと云ふが、値段は 5 錢 10 錢と高値になつて居るのは確かに此空氣の賜である、兎に角今旬は部分々々には曰くはあろうが大體に於て愁眉を開いたと見られて居る。

然し未だ温室の花たるを脱れないから、荒い風は切角の花を萎ますこと請合である、協力して哺育に努めなければなるまいと云はれて居る。

**東京市況**

**丸 鋼** 今旬の丸鋼の問題は 9mm である、理窟から云ふと共販委託で當然轉換されるものと考へられるが、東京では別項 4 社の引受數量も今日まで判明した處では未だ納まる處に納まらず宙に迷つて居る許りでなく、外にも何か原因でも潜むのか小甘い商狀と云はれて居る、尙市中相場に掲げた 5 圓 90 錢は先づ實貫の値段で、計算重量だと 15 錢羽みの高値である、12mm は組合の注文引受が尠いので品拂底、伸鐵物で間に合せて居る状態故小堅い、ベース物は前旬迄は先行強弱兩様の觀察で値段も氣迷ひがあつたが今旬に入つて荷動きも相當ある様になつたのに連れて疑念も漸く消えて小口安の大口高と云ふ珍現象で底堅く一安神と云はれ、50mm 以上は値上げの聲に連れてこれも稍強調。

**角、平 鋼** 角は不相變動かず、伸鐵物も材料薄の爲め反つて小戻りと見られ、平は 2 1/2 以下はメーカーが 56 圓以下にて受注せざる態度が市場に徹底した爲め戻りと

なり 3' 以上も之れに引きづられて手堅いと云はれて居る。

**型 鋼** 型鋼の花形は中型である、昨日まで暗雲低迷して一時は波瀾も豫想されたが 20 日に突如共販成立して此處彼處皆胸撫で下し、相場も反撥氣勢となつた、それは一つは現物が殆んど市中にない程入荷が不順潮となつたのも原因と見られて居る、然し大口や先行に對しては例の思惑物が胸に塞へて暗中摸索と傳へられて居る。大型等山では 15×150 が前旬來の品薄で稍硬化の外は不變不等山では共販に移つた 4×3 や、5×3 1/2 が稍見直したが其他は荷動き不振に不味、溝、工は未だ沈靜の域を脱せず。

**鋼 板** 60mm 以上は落ち付く處へ落ち付いて漸く安定の域に達した、之に引き換へ、中板は益々波瀾合みとなり注目の的となつて居る。即ちどれもこれも外注安を知らぬ氣に盛に躍進氣勢となつてハラハラさせる程である 16mm は入荷豫想によつて前旬の硬調を緩和したが、それでもまだ相當高値に踏み止まり、23mm は外注安を氣に病みながらも 5×10 が 9 圓 2—30 錢、3×6、4×8 は 8 圓 7—90 錢と強調を持續し、32mm は入荷途絶えたる爲め市中手持ちなく殆ど暴騰氣味で、成行としても先行觀の差異により店によつて 1 圓以上の開きがあると云ふ有様である。45mm だけは相當入荷があつたので漸く緩和状態となつたと云はれて居る。中板は今迄月額 1,300 吨位のものでさへ消化し兼ねたものが如何に需要期とは云へ共販成立後 4 月渡が 5,000 吨近くの引受を餘儀なくされる程の申込である、それで市場ではメーカーの責務として調節しろと云はれるし、申込者からは引き受けなければ外注するぞとおどかされるし蓋しメーカーたるも亦難い哉である。

**黒 板** 鋼材界の活況の火に油を灌いだ觀のあるのが近來の黑板である、13 枚は需要減退の豫想から極度の仕入れ手控へをしたのと先行不安に盛に製品の先賣りを焦つた爲め今になつて東京には全く原板の手持ちなしと云ふ未曾有の現象を呈して此需要季節に逢着し、他鋼材の全般的の強調に刺戟されて鍍金は急に奔騰氣勢となり 28 日に 68 錢 30 日に 70 錢と毎日 1 錢羽みの暴騰振りである。長尺物を此調子に乗つて盛んに「外注」に流眼を使つて居るがこれも若し手を付ければ入荷頃には内地メーカーの供給増で、憂き目を見ればなるまい、危哉。原板値段も 60 錢として置いたが東京には前述の如く全く手持ちがないので只氣持だけを掲げたに過ぎぬ。

**線 材** 釘も確りて 25 錢方値上げ、特に針金は鍍板

の様躍騰の爲め線材も反撥氣勢となつた。猶 2 月入港外注 1 萬噸の豫想に對し聊か豫想を裏切り別表速報に見る如く 2 月が 6,000 噸 3 月が 4,500 噸と合計して漸く 1 萬餘噸で 3 月は已に漸減の傾向が見えて來たのも此一因ではあるまいか。

### 大阪市況

**丸鋼** 6mmは 8 圓 10 錢、8mmは 6 圓 70 錢とカツチリ取引されて居る様子である、これは供給不足にて漸く伸鐵物にて間に合はせて居る爲めだらうと見られてゐる。12mm, 16mm, 19mm の中條物は呆り商狀を辿り中丸 50/100mm は關東共販が 60 圓以下にて商内せぬとの報に 2 圓方反撥氣勢を示し引續き強調。

**角、平鋼** 角鋼 32, 38 は當所品出廻り不圓滑の爲め 6 圓カツチリ。永い間不遇を啣つてゐた平鋼も前旬來引續き弗々荷動きあり、かたがた少々堅調を持續してゐる。兎に角、角も平も共に四圍の事情に事毎に改良しつつある模様にて此の結果は意外な新場面が展開されるかも知れぬと見る筋もある。

**型鋼** 山形鋼は共販成立の聲も一向に響かず小型物は引伸品其他にて保合ひ居れど中型のものなど今迄に少々行過ぎた感ありて 1-20 錢方下押して居る。工型鋼大型ものは品薄にて氣配は小腕りを示してゐるが中型物は不相變弱保合と云はれてゐる。溝型鋼は一向に荷動きなく全く休業状態と云はれ従つて相場も釘付されて妙味がない。

**鋼板** 1'6, 2'3 何れも極度に品掠れにて強調を持續してゐる。又薄板 1'3 枚ものは内地賣行良好に向ひジリ高歩調を辿つてゐる。

### 線材 目下の呼値は

大陸物 1 英噸 77 圓 50 錢 當所品 1 噸 74 圓  
神戸製鋼品 73 圓 50 錢  
である。

大陸物入荷は既報の如く愈々少く尙今後共大した入荷は豫期出來ず且つ需要期に向ひたることゝて荷動き活潑となり相場は前旬來 1 圓 50 錢方反騰し尙上向きつゝある様子である。

**鐵力板** 「ぜひ國産」このスローガンが一般需要家に徹底したのか將又外註品の採算がとれなくなつたためか、いづれにしても目下市場には外國製品のストックなく従つて内地品の手當薄と相まつて氣配は漸良歩調を辿りつゝあると云はれてゐる。

**大陸鋼材運賃再値下の入電** 2 月中旬に大陸鋼材は 25 志より 20 志に運賃の値下げがあつて鋼材界に面白からぬ刺戟を與へたが、3 月 25 日 4 社への入電によれば復々 4 志の運賃値下げを發表された由で、決局 16 志

となつた譯である、内地は各種の統制網に依り折角安定しかけた折柄誠に厭な材料である。

### 販賣旬報 第 158 號 昭和 6 年 4 月 11 日

製鐵所販賣部

**製鐵所シート・パイルの市場進出** シート・パイルは其後益々其眞價を認めらるゝと共に需要も急速なる歩調で増加し、昭和 5 年の如きは他鋼材が軒並みの減退振りなのに獨り此シート・パイルのみは變態的に増加の現象を呈し年額 3 萬噸を突破するに到つた。

然るに此シート・パイルは今迄は我國内に 1 噸の生産もなく従つて過去何年かの間全く輸入によつてのみ其需要を充し、全然外國品の蹂躪に委すより外なかつたのである。

製鐵所としても外注防遏の意味より鋭意研鑽に努め遂に外國品に優る製鐵所型を完成し、昨年特許を得て製作を開始したのである。然るに此製造技術は他鋼材と異なり至難とせらるゝ處で外國に於ても日本にての製作は到底覺束なからんと迄云はれ、一般市場も如何に早くも來年にあらざれば製品の出現は不可能なるべしと觀測されて居たのに、試作以來僅々數ヶ月を出ずして早くも 3 月に於て完全なる製品を製作し 4 月より市場に供給し得る事となつたので、内外共に驚異的となつて居る。之に依つて見ても製鐵所の技術者が如何に優秀であり、また如何に苦心慘憺せるかを窺はれて非常なる賞讃の辭を贈られて居る。

4 月に市場に現はるゝものは製鐵所 A 型 2 號で 5 月には引續き A 型 1 號も賣出さるゝ筈である。

是に依つて主要鋼材は全部内地で供給し得る事となつた譯で我國鐵鋼界にとり劃期的の事象と云ふべきである

### 副製品 2、3、

1) クレオソート油在庫一掃 既報のタンク船大口輸出は豫定の通り商談成り、去月 16 日于珠丸によつて約 3,360 噸積出し、構内松ヶ島の各 2,000 噸大タンクは何れも在庫品を一掃する事を得た。従つて 6 年度への持越品なく鐵材減産に伴ふ生産豫定高の減少と相待つて從來年間 15,000 噸内外の販賣數量を有した本品も本年度は僅に 9,000 噸餘に激減し輸出向のみにすら追はれる状態となつた。

因に 1 月以降 3 月迄の輸出量は次記の通りで 5 年度輸出累計は實に 15,189 噸に達する事を得た。

積込時期	船名	數量 噸
1 月下旬	ベルファスト丸	885·916
2 月下旬	玖馬丸	894·563
3 月下旬	干珠丸	3,364·454
計		5,144·933
累 計		15,188·859

2) 鑛滓綿洞岡製品販賣開始 最良の作業状態を維持しても尙供給不足を繰返して來た當所鑛滓綿は昨冬以來全般的生産豫定高の減少によつて實需家方面より益々數量不足を叫たれて居たが本年7月以降洞岡鑛鑛工場て次記數量を生産する事になつたから此後は多少其の不足状態を緩和する事が出来るだらう。

等級	7月	8月	9月	計
	噸	噸	噸	噸
1級品	5,580	6,200	6,900	18,680
2級品	1,950	2,170	2,410	6,530
並等品	3,070	3,410	3,800	10,280
計	10,600	11,780	13,110	35,490

尙本年度上半期渡(自4月至9月)價格は當所需給状態並に關係市況を参照し次記の通り引續き据置を發表した。

1級品	當所工場構内渡	藁吹入	1噸に付	135圓
2級品	"	"	"	78圓
並等品	"	"	"	15圓

3) 良質ピッチコークス好調 巷間品質の1等地を抜ける事を認められつゝも、目下の處主として室内優良燃料と云ふ限られた用途の關係から夏季、荷動きの不圓滑によつて一時相當の滞貨を來たした當所良質ピッチコークスも、中秋以降は好季節を機會に大口定期契約先の商策宜しきと東西各一流デパートの努力とにより冬期に入り斷然たる荷動きを見せた。12月の如きは積出高440噸餘に達し最需要期の2月には在庫品皆無となつて遂に日々生産に追はれるに至つた。

5年度後半期の生産高及積出高實績次の如し。

月別	生産高	積出高	比較
	噸	噸	噸
10月	88	154	△ 66
11月	53	199	△ 146
12月	103	442	△ 339
1月	60	351	△ 291
2月	51	167	△ 116
3月	67	40	△ 27
計	422	1,353	△ 931

(備考 △印は積出超過を示す)

次に本品の今期自4月至6月渡の新價格は各關係事項を参照して之亦据置に決定した。

#### 小型山形鋼共販組合第一回理事會——5月積賣出

月日、場所 4月2日、製所鐵所販賣部

出席者 釜石、製鐵所

議事 5月積先物賣出に關し最低値段、其他賣出方法等に付協議する處ありたり。

#### 中型山形鋼共販組合理事會——4月積締切

月日、場所 4月27日、製鐵所販賣部

出席者 日本鋼管、東海鋼業、製鐵所

議事 4月積賣出に對する申込は次の通りにて豫期に反し甚だしく多かつた。此現象は今後の市場の向背に

對する何等かの判斷材料となるのではあるまいか。

#### 4月積申込數量

東京	大阪	名古屋	關門	計
2,085	2,073	70	—	4,228

以上申込は全部引受と決定した。

#### 黑板共販組合臨事理事會 品掠れと需要期に乗ぜ

られて亞鉛引板は目下沸騰的相場を出現し市中の人氣を一に集めてゐるが、過去の歴史が物語る通り危機は得意の絶頂に於て孕まれるもの特に5-6月を過ぎれば亞鉛引板に最も苦手の梅雨時が控えてゐるし、萬一目先の利益に誘はれて外註にても浮氣をすればそれこそ元の黙阿彌、此の所大いに警戒を要するとあつて共販組合は臨事理事會を招集し去る7日大阪電氣俱樂部に於て指定商たる4社と懇談をとげた。

何でも最近英國の某々工場が其の能力をカバーする爲に三井、三菱にあて、浪板2,000噸許り10磅17志6片と云ふ突飛な安値でオフアして來たとの事に市中の間屋連中目先の好況に聊か有頂天になつてゐる處とてたまらない。チョコチョコ策動し初め相な様子が見受けられ此際共販とて何等かの對策を講じない限り指定商としても到底押へきれないだらうと云ふのである。商人として利を追ふは當然ながら、不當なる外國の投賣に對し共同戦線をはつて市場の混亂を防衛するも亦一國商人としての公義務であり且亦自らを愛する終局の所以でもある、組合としても此等の投賣に對しては徹底的に對抗する必要ありとなし、將來外註に走る事實があればあくまで値段を以つて競争する覺悟を申し合せると共に次の決議をなし一般に警告を發することに決定した。

1、問屋又は鍍金業者にして今後外註を爲したるものに對しては組合製品の供給割當上重大なる考慮を拂ふこと

2、又組合の指定商たる4社が自ら、或は其の隸屬する鍍金業者又は問屋が外註を爲せる場合も同様指定商に對する割當上重大なる考慮を爲すこと。

4社も組合の此の態度を諒として午後4時散會した

#### 3月中の三港輸入——僅少

1、「輸入數量の多寡が市況の硬軟に反映するに半歳後にある」とは旬報子が屢々繰り返す言葉であるが、昨年11月に三港輸入數量が殆んど1萬噸に近いと云ふ僅少な記録を残してから數へると4月が丁度6ヶ月目である。

然して内地の市況はと云へば壽命の長短は豫言出來ぬが現在は黑板、線材の狂奔は別としても中板、厚板、山形と3月末から4月へ掛けて皆反撥氣勢となつた。勿論之れは内地の統制組織の完成が興つて大に力になつて



は居るが、尠くも其一部分は冒頭の原則の表現と見られるのではあるまいか、處が此原則の逆も亦概れ眞であるから「市況の硬軟が輸入の多寡に反映するのは半歳後にある」と云ふことも肯定出来るので此秋から冬に掛けての輸入には大に注目を要する事と考へられる。

2、3月中の輸入も僅に1萬1,000餘噸で輸入數量の通念から判断して過少の感がある。

棒鋼は稍増加し、型物は全滅のまゝ推移し、鋼板はチラホラと鋒芒を現した感あり、軌條は片影だに認められず、線材は豫期よりは尠く、鋼管は著減である。主要なる品種の解説をする。

丸鋼の大部分は特殊の物だ普通の市販品としては太丸物が僅かながらあるだけである。

鋼板(0.7耗以下)は大阪に例の問題になつて居る噸280枚物が214噸許り輸入されて居る、其他は殆んど浪板原板でそれも30"物は僅かて29½"や28"が大なる勢力を持つて居る様である、此點にも關心が必要であらう。それよりも何回も書く通り浪原の内地生産増加が刻下の急務ではあるまいか。

線材は「2月外注1萬噸」の聲を良い意味で裏切つて2、3月合して1萬噸強であつた爲め市況も製品の需要期節と此數字が物を言つて反撥して居る次第と見られる。

3、本年累計と前年同期累計の數字に一寸眼を移して頂きたい。

たつた3ヶ月間で今年は去年の12萬8,500噸に比し只の3萬3,000餘噸で實に9萬5,000噸の著減である。

どの品種も皆桁異いの減少振りで驚くより外はない。只線材が稍去年の數に近い許りである。

其内でも型物の減少は異數であらう、等山の去年の5,000噸が本年は只の3噸など極端なものである。

之に亞では棒鋼が約1割となつた事である。

軌條も徹底的減少で鋼管も1/3である。

4、恐るべきは此反動である。

2月中大陸市況 需要期を間近に控へての2月のこととして、いつもならそろそろ荷動きも活氣づく期節であるが、買手の氣迷氣分相變らず濃厚で、メーカーの讓歩に依つて兎も角、商内はあるが、工場能力をカバーする丈の新規註文は到底とれず、註文獲得に依然困難な状態を續けてゐる。此の分ていくと更に生産制限をせねばならないのではあるまいかとさへ氣遣はれてゐる。前報報道した工形と棒鋼の紳士協約はどうやら無根であるらしく相場は毎週じり安を演じて棒鋼の如き月末には3磅17志の安値に落ち込んだ。ブラツセル取引所市況並に相場次の如し。

2月4日 取引依然活氣なく相場も一段安。

半製品市場 商談全く整はず、英國よりの引合は幾分あつたが何れも見積照會で買氣は更にない、こんなわけでは呼値は變らないが實際の値段は不明である。

製品市場 ルクセンブルグのメーカーが棒鋼の大口註文を納期3週間 f. o. b. 3-19-0 で引受たと云はれてゐる。白耳義は此より少し弱い様で、3-18-0 は一般の相場、中には3-17-0 で賣られたものもある。

鋼板は保合。

2月11日 本日の立會は主として工形、溝形、山形等の型钢を中心として内地向の需要に聊か賑はひを見せたがまだまだ荷動きは鈍い。

東洋市場よりの買付もやゝ良く、ニザーランド、瑞典、諾威、西班牙及葡萄牙等大陸諸國の取引も相當。

半製品市場 大口引合もなく相場一段と弱し。

製品市場 棒鋼、工形、山形等の小口註文の外は大した商内もなく相場じり安。

中山形2吋のものは3磅17志6片—3磅14志位が相場であるが、佛蘭西メーカーは3吋半等邊を3磅14志位で賣唱えてゐる。

2月18日 僅かながらいい方に向つて居る感じが市場に窺はれると云はれてゐる。

2月25日 本日の立會は更に軟化の氣配を示して數週前の鈍状に戻されたと云はれてゐる。

半製品市場 メーカーの讓歩に依つて小口商内があつた位で見るとはならない。相場一段安。

製品市場 棒鋼もじり安の3磅17志6斤で、600噸位纏まると3磅16志位で取引されてゐる。然し工形、山形等は保合を續けてゐる。

	2月4日	2月11日	2月18日	2月25日
棒鋼	3-18-6	3-17-0	3-18-0	3-17-3
工形(N.P.)	3-10-6	3-10-6	3-10-0	3-9-0
"(BS)	3-11-9	3-11-6	3-11-6	3-11-0
山形(大型)	3-19-0	3-18-0	3-18-0	3-18-0
鋼板(4.5mm)	4-12-0	4-10-6	4-11-6	4-9-0
"(3.2mm)	4-14-6	4-13-0	4-13-0	4-10-3
"(1.6mm)	—	—	—	—
ピレット(2")	—	3-10-9	3-10-0	3-7-0
シート・バー (assorted)	—	3-12-0	3-11-3	3-9-6

東西市況——堅調 丸鋼の堅調は何よりの好感を以て迎へられ、加之中型山形鋼の硬化模様など一般に人氣よく又荷動きも大型物を除いては相當ある模様の爲め、市場は前旬に引續き穩健な歩調で良い方へ推移して居る。

然し此好化の原因全部が需要の喚起の如き自然の大勢によつて爲されたのなれば誠に心強いが、さうてはなくて實際の状態は共販と云ふ人爲的作爲が其主要なる原因

と見られて居るだけの先行には大なる期待は持たれぬと見て居る筋もあるが、今迄は如何なる技巧も皆弱氣の材料と化せられたのに反し今日では値上げの聲に連れて市場も之に附隨し得る様になつただけ眞實味が出て来たのではあるまいか。

**東京市況**

**丸鋼** 9mm 問題は東西割當に於て東京方面は未だ判然としない模様で、噂に稱へられて居る引受數量が荷が勝つて居る感じを興へて居るのも原因となつて今の處買氣起らず底力もない、6mm 供給不足で上伸氣勢であるが一部では此儘推移すれば外注に走るものも出て來はしまいかと氣に病んで居る筋もある、ベース物の需要の擡頭も手傳つて先高豫想から堅實な足取りを辿つて居る、何は兎もあれ王座たる此丸鋼のベース物が動き出さなくては鋼材界は本調子にならぬ、其意味から此状態は一般に好感を持たれて居る。50mm 以上堅調變らず。

**角、平鋼** 角は伸鐵物の爲め頭支へながら値頃は相當と見られ、平は 1/2" 以下もメーカーの値上げに連れて戻り 3" 以上不變。

**型鋼** 中型等山は共販成立前の押目買が東西合して 1 萬噸以上あつたと稱せられるが、偏在して居る爲と、可成り利喰ひされた爲めか今の處では市場の空氣には影響なく、寧ろ共販値段と外注値段の鞘が相當あるので、將來の値上げを豫想して堅實な足取りと見られて居る、大型等山及共販分野外の不等山もどうやらと云ふ程度になり、共販分野不等山は中型等山に連れて戻り、溝は賣行不振に未だ不味を改めず、然し一部では大勢から考へて此邊ではあるまいかと見て居る、工形は引き続き外注安に脅え氣味となり弱腰を傳へられて居る。

**鋼板** 總體から見ると前旬の稍狂調めいた處が入荷によつて平均されて漸次平靜に歸しつゝある模様である、即ち 1.6mm は氣配引き続き緩和状態となり、3.2mm は入荷豫想に先安氣構へが寧ろ行き過ぎの感がある程であるが實際の入荷状態が硬軟の別れ目となると云はれて居る、4.5mm は手持豊富ならざる爲め 7 圓前後で保合つて居る、6.0mm 以上は相場漸く老境に入つて落付きと見られて居る。

**黒板** 其後鍍板は益々暴騰氣勢となり一時は 80 錢以上を稱へられたが、大阪から 72 錢拂みの賣物により水を注されて鞘寄せとなつたのと、又一つには行き過ぎの感が一般に行き亘つたのも原因して沈靜に歸し 8 日頃は 75 錢を中心に動いて居る模様である、東京は未だ原板なく目先僅少の入荷は豫期されて居るが一部では月末の品枯れを豫想して居る者もある。

**大阪市況**

**丸鋼** 世界經濟界の春の芽生えが見え出した。だがカラリと晴れ切つて朗らかな春にはまだ遠いであらうと見られてゐる。従つて我丸鋼界もこうした四圍の環境から脱し得ず最近設立されし市場統制機關たる共販組合も思つた程の刺戟材料にもならず目下の相場は釘付状態にて一向に不伸、只 50~100mm が在庫漸減のため幾分硬化せるのみと云はれてゐる。

**角、平鋼** 角鋼は既報の如く各寸法共比較的在庫薄のため手堅く、平鋼は引續き騰勢を改めず就中 6×65、12×65 等は市中皆無にて 6 圓 20 錢見當にて取引されてゐる様子である。

**型鋼** 永い間の冬眠も昨今の花便りに漸く目醒め荷動きは稍々活況を呈し市場在庫は漸次消化されつゝある模様である。山形鋼小型、中型共、共販及び引伸品の生産能率低下に幾分上向歩調を呈し、殊に當所品 2-3 月渡積出未済品もありて工形鋼、溝形鋼共今後品不足を感じるものと見られてゐる。

**鋼板** 薄板は製品界の活況を移し今尙漸騰歩調を不改 1.6、2.3、3.2mm は近日中に入荷ある見込なるも市況は不相變底固いと云はれてゐる。

**線材** 目下の呼聲は

大陸物	1 英噸	81 圓
當所品	1 噸	78 圓
神戸製鋼品	"	77 圓 50 錢

である。

大陸物入荷一段落と共に先月末より俄然強含みとなりし相場は製品界の需要擡頭と共に益々強く相も不變反騰氣勢を不改。

**鐵カ板** 既報の如く荷動きはあるが何分にも永い間苦境にあつただけに相場の波も至極平穩で恰も春の海の如くのたりのたりにしてゐる。従つて今年は筍の不作といふ僅かな材料もすぐ市場に響くといつた有様といはれてゐる。

**午の鐘春めく湖にひびきけり**

**ブラツセル通信** 4 月 4 日入電齋藤囑託發 市場は閑散ながら耽り、相場變らず

3月中下旬、4月上旬線材、薄板、鋳力板、輸入速報

區分 品名	3 月 中 旬				3 月 下 旬				4 月 上 旬			
	神戸 自3月9日 至3月19日	大阪 "	橫濱 自3月7日 至3月18日	計	神戸 自3月19日 至3月28日	大阪 自3月18日 至3月27日	橫濱 "	計	神戸 自3月28日 至4月9日	大阪 "27日"	橫濱 "28日" "7日"	合計
B.W.G.No.5	607	457	610	1,674	143	—	—	143	393	100	101	594
其他	254	—	—	254	112	101	51	264	445	101	—	546
計	861	457	610	1,928	255	101	51	407	838	201	101	1,140
線材	2,488	710	965	4,163	2,743	811	1,016	4,570	—	—	—	—
薄板 0.7mm	151	128	6	285	425	480	—	905	125	235	—	360
以上中旬計	151	608	6	765	3月計 576	1,088	6	1,670	—	—	—	—
鋳力板	125	111	183	419	84	—	517	601	271	122	280	673
以上中旬計	227	172	654	1,054	3月計 311	172	1,171	1,654	—	—	—	—

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸 法	2 月中旬		3 月下旬		4 月上旬	
	東京 2月 17日	大阪 2月 15日	東京 3月 30日	大阪 3月 25日	東京 4月 8日	大阪 4月 5日
丸	鋼					
6mm	7.90	8.10	8.00	8.10	8.10	8.10
9	5.90	7.85	5.90	5.85	5.90	5.85
12	6.00	6.00	"	5.95	6.20	5.95
19	5.80	5.95	5.85	5.90	5.90	5.90
25	"	5.85	"	5.85	"	5.80
50	5.95	6.10	6.00	6.20	6.10	6.20
65	6.00	6.00	6.10	"	6.20	6.15
角	鋼					
9mm	6.20	6.00	6.30	6.00	6.40	6.00
12	"	"	6.20	"	6.30	"
15	6.00	5.90	6.00	"	6.00	"
19	6.10	6.00	6.10	"	"	"
38	"	6.10	"	"	6.10	6.15
平	鋼					
1/4" x 1 1/2"	5.60	5.75	5.70	5.80	5.80	6.00
1/4" x 2"	"	"	"	5.70	"	"
1/4" x 3"	5.80	5.80	5.80	5.80	5.90	6.10
3/8" x 4"	6.10	5.70	6.10	5.70	6.20	5.90
1/2" x 4"	"	6.00	"	5.95	"	6.00
等邊山形鋼	mm mm mm					
6 x 50 x 50	5.75	5.60	5.85	5.85	5.90	5.90
6 x 65 x 65	5.80	"	6.00	5.95	6.00	6.00
9 x 75 x 75	5.85	"	5.95	5.90	"	5.90
9 x 130 x 130	6.70	6.70	6.70	7.00	6.70	6.90
12 x 130 x 130	6.75	6.60	6.75	6.80	6.80	7.00
15 x 150 x 150	6.80	"	6.85	6.70	6.75	6.80
不等邊山形鋼	mm mm mm					
3/8" x 2" x 3"	6.55	6.50	6.60	6.50	6.60	6.40
3/8" x 3 x 4"	5.75	5.90	5.80	6.00	5.90	6.20
3/8" x 3 1/2 x 5"	"	5.80	"	"	6.00	6.00
3/8" x 4 x 6"	6.70	6.70	6.75	7.00	6.80	7.00
1/2" x 4 x 6"	6.80	"	6.80	6.80	6.85	6.80

寸 法	2 月上旬		3 月下旬		4 月上旬	
	東京 2月 17日	大阪 2月 15日	東京 3月 30日	大阪 3月 25日	東京 4月 8日	大阪 4月 5日
溝 形 鋼	鋼					
1/4" x 2" x 4"	6.45	6.90	6.50	6.60	6.50	6.70
0.312 x 2 1/2 x 5	6.90	"	6.95	6.85	6.90	6.90
3/8" x 3 x 6	6.60	6.80	6.60	6.80	6.65	6.80
3/8" x 3 x 8	6.55	6.50	"	6.50	6.60	6.50
3/8" x 3 1/2 x 10	6.60	6.80	6.70	6.80	6.70	6.80
3/8" x 3 1/2 x 12	"	7.00	"	7.00	"	7.00
工 形 鋼	鋼					
1/4" x 3" x 6"	6.60	6.80	6.60	6.65	6.60	6.70
3/8" x 6 x 12	6.80	7.30	6.90	7.00	6.90	6.80
0.28 x 4 x 8	6.55	6.70	6.50	6.70	6.50	6.70
0.35 x 5 x 12	6.90	7.50	7.00	7.50	7.00	7.50
0.36 x 5 x 10	6.80	7.00	6.80	7.20	6.80	7.00
鋼 板	mm					
1.6 x 3' x 6'	8.90	9.40	8.80	9.50	8.75	9.10
1.6 x 4 x 8	8.80	"	8.70	"	8.70	9.05
3.2 x 4 x 8	8.10	8.00	8.80	8.20	8.60	8.10
3.2 x 5 x 10	8.20	"	9.00	8.00	9.00	8.00
6.0 x 4 x 8	8.40	6.00	6.50	6.20	6.50	6.30
6.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"
9.0 x 4 x 8	"	"	6.40	"	6.40	"
9.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"
薄 鋼 板 (13 枚)	米 英 八 幡					
54	55	61	54	61	61	61
53	54	60	54	60	60	60
53	53.5	60	53	60	59	59
鋳 力 板	米 英 八 幡					
170 lbs	19.80	19.30	19.40	19.40	19.40	19.40
100	11.00	10.80	10.90	10.50	10.90	9.50
170	17.00	16.90	17.00	17.00	17.00	17.00
100	8.80	8.90	8.80	8.60	8.80	9.30
170	16.80	16.90	16.80	17.00	16.80	17.00
100	8.80	8.90	8.80	9.00	8.80	9.00
線 材	No. 5					
77	72.50	80.00	74.00	81.00	78.00	78.00

考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和6年2月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	國 別											計	本 年 度 累 計	前 年 同 期 計
	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其 他			
條及竿鐵	9	1	51	77	7	—	10	4	—	—	—	159	387	3,003
〃 (丸、角、平の其他)	19	—	298	173	20	—	17	—	—	—	1	528	2,021	7,667
〃 (テ、ア、ン、グ、ル、形、及、其、他)	—	—	5	14	—	—	—	1	—	—	—	20	171	7,251
〃 (其 他)	22	610	481	2	—	—	—	—	—	—	1	1,116	2,485	10,146
レール	—	—	201	—	—	—	—	53	—	9	53	316	484	3,123
フィッシュ、プレート	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	3	10	18	383
ワイヤード	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	104
〃 (巻きたるもの其他)	—	—	2,712	608	—	—	105	1,353	—	—	356	6,134	9,938	13,841
鐵板	—	—	—	—	—	—	—	112	—	—	—	112	473	1,818
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	534	—	641	—	—	—	—	—	—	—	10	1,185	1,707	6,144
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	1	—	270	—	4	—	3	16	—	—	—	294	575	3,614
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	—	—	42	13	—	—	—	22	—	—	2	79	114	6,714
〃 (鍍したるもの其他)	880	73	120	—	—	—	—	2,226	—	9	99	3,407	6,205	13,922
〃 (葉鐵及葉鋼)	13	50	—	—	—	—	—	46	—	—	50	159	252	496
〃 (亜鉛鍍したるもの其他)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	55
鐵線	68	13	31	9	1	—	18	123	—	—	—	263	571	686
リード・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1
鐵リボン	187	84	241	17	—	—	23	3	—	—	2	557	997	1,011
帶 (捲鐵)	28	162	554	4,802	—	—	—	28	4	—	—	5,578	6,570	7,706
パラゴン・ワイヤー	22	—	—	—	—	—	12	4	—	—	—	38	47	46
線索	18	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	25	30	181
撚合線	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
パーブド・ツイスター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パイプ	66	—	288	8	—	—	1	510	4	—	—	873	1,948	8,880
鐵筒及管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特殊鋼(稅表一)	6	3	21	—	28	—	17	2	2	—	3	84	128	377
〃 (稅表二)	2	—	2	—	6	—	2	—	—	—	1	13	38	72
鐵道車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	4	20	9
鐵道車輛用タイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	132
鐵道車輛用ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	1,875	996	6,973	5,723	66	—	208	4,507	8	18	581	20,955	35,274	97,382
フェロ・マンガニース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	352
フェロシリコン及シリコ スピンゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可 鍛成鐵合金	—	—	11	—	—	—	6	—	—	—	—	17	36	87
シートバー (ティンバーを含む)	—	—	1,221	260	—	—	—	—	—	—	—	1,481	3,677	11,373
インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ	—	209	—	—	—	—	10	—	—	—	—	219	468	2,064
ケツグスチール及 パンパスチール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	—	209	1,232	260	—	—	16	—	—	—	—	1,717	4,481	13,946
銑屑及故鐵	173	—	—	—	—	—	—	—	45,626	5,281	—	51,081	70,696	69,576
	484	—	—	—	—	—	—	163	631	2,966	3,888	8,590	17,872	58,070

昭和6年2月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

區分 寸法	九 鋼				九 鋼				合計
	民間向普通鋼			計	規格品及特殊鋼			計	
	阪神揚	京濱揚	其他		阪神揚	京濱揚	其他		
6mm	—	—	—	—	—	—	4	4	4
7	—	—	—	—	—	—	3	3	3
8	—	—	—	—	—	—	3	3	3
9	819	225	476	1,520	—	58	1	59	1,579
10	2	—	1	3	—	—	—	—	3
11	51	37	20	108	—	—	—	—	108
12	150	480	—	630	—	—	7	7	637
13	10	2	9	21	—	—	—	—	21
14	—	—	2	2	—	—	3	3	5
15	7	—	5	12	—	—	—	—	12
16	70	—	5	75	—	—	3	3	78
17	4	—	—	4	—	—	—	—	4
18	4	—	19	23	—	—	—	—	23
19	100	—	11	111	69	—	15	84	195
21	13	—	13	26	—	—	—	—	26
22	21	—	1	22	36	—	2	38	60
23	—	—	2	2	—	—	—	—	2
24	10	—	10	20	—	—	3	3	23
25	24	—	31	55	—	—	11	11	66
26	24	—	14	38	—	—	—	—	38
28	43	—	24	67	—	—	—	—	67
30	—	—	13	13	—	—	—	—	13
32	73	—	—	73	—	—	8	8	81
34	2	—	—	2	—	—	—	—	2
36	4	—	—	4	—	—	—	—	4
38	6	—	—	—	—	—	25	25	31
40	3	—	—	3	—	—	—	—	3
41	3	—	—	3	—	—	—	—	3
42	4	—	—	4	—	—	—	—	4
44	6	—	—	6	—	—	1	1	7
45	4	—	—	4	—	—	—	—	4
48	5	—	—	5	—	—	—	—	5
50	—	20	20	40	—	—	5	5	45
55	76	15	10	101	—	—	5	5	106
60	17	5	—	22	—	—	—	—	22
65	56	25	10	91	—	—	4	4	95
70	2	15	5	22	—	—	—	—	22
75	40	10	10	60	—	—	4	4	64
80	1	—	—	1	—	—	—	—	1
90	35	2	5	42	—	—	—	—	42
95	1	5	5	11	—	—	—	—	11
100	11	—	5	16	—	—	—	—	16
115	7	—	3	10	—	—	—	—	10
120	—	2	—	2	—	—	—	—	2
130	27	—	—	27	—	—	—	—	27
150	12	—	5	17	—	—	—	—	17
160	42	—	—	42	—	—	—	—	42
170	37	—	—	37	—	—	—	—	37

區分 寸法	九 鋼				九 鋼				合計
	民間向普通鋼			計	規格品及特殊鋼			計	
	阪神揚	京濱揚	其他		阪神揚	京濱揚	其他		
180	27	—	5	32	—	—	—	—	32
190	38	—	—	38	—	—	—	—	38
200	39	—	—	39	—	—	—	—	39
丸鋼計	1,930	843	739	3,512	105	58	112	275	3,787
角 鋼									
12	35	5	20	60	—	—	—	—	60
16	25	5	305	335	—	—	—	—	335
19	20	25	10	55	—	—	—	—	55
22	25	10	5	40	—	—	—	—	40
25	5	10	5	20	—	—	1	1	21
28	15	10	—	25	—	—	—	—	25
32	45	10	5	60	—	—	—	—	60
38	57	30	10	97	—	—	2	2	99
44	48	25	5	78	—	—	1	1	79
50	20	10	5	35	—	—	—	—	35
65	15	5	—	20	—	—	—	—	20
75	16	5	—	21	—	—	—	—	21
90	—	—	5	5	—	—	—	—	5
100	5	5	9	19	—	—	—	—	19
120	—	—	4	4	—	—	—	—	4
角鋼計	331	155	388	874	—	—	4	4	878
平 鋼									
16mm	1	—	—	1	—	—	—	—	1
19	30	18	21	69	—	—	—	—	69
22	14	25	30	69	—	—	—	—	69
25	30	50	27	107	—	—	—	—	107
32	45	55	40	140	—	—	1	1	141
38	70	90	5	165	—	—	3	3	168
44	20	35	5	60	—	—	—	—	60
50	70	65	5	140	—	—	7	7	147
55	5	15	—	20	—	—	—	—	20
65	74	78	—	152	—	—	7	7	159
70	—	—	—	—	—	—	1	1	1
75	82	130	15	227	—	—	11	11	238
85	10	5	—	15	—	—	—	—	15
90	101	61	5	167	—	—	2	2	169
100	27	25	5	57	—	—	—	—	57
110	5	—	—	5	—	—	—	—	5
125	—	—	10	10	—	—	—	—	10
平鋼計	584	652	168	1,404	—	—	32	32	1,436
棒鋼計	2,845	1,650	1,295	5,790	105	58	148	311	6,101

昭和6年3月中當所製品揚地別發送高

(單位噸)

品名\區分	揚 地 別										合 計			
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸四國地方	興羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿鮮關東地方		支那臺灣其他		
鋼材	342	563	293	—	196	196	942	617	—	4,070	—	986	—	8,185
鋼片及副合	24,569	22,798	6,761	1,660	247	—	—	2,155	34	2,794	715	290	239	62,262
鋼塊及副合	24,911	23,361	7,054	1,660	443	196	942	2,772	34	6,864	715	1,256	239	70,447
鋼片及副合	706	—	4,500	—	—	1,790	—	2,299	—	—	—	—	—	9,295
鋼片及副合	17	50	23,584	11	—	611	—	1,829	—	—	—	—	—	26,102
合 計	25,634	23,411	35,138	1,671	443	2,597	942	6,900	34	6,864	715	1,256	239	105,844



昭和6年2月中當所品種寸法別生産高 (其の一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		<b>型鋼の部</b>		<b>丁形鋼</b>		6		<b>ユニバーサル平鋼</b>		<b>附屬品</b>	
<b>丸鋼</b>		<b>等邊山形鋼</b>		6'×4'		25		6.2mm		50 <sup>1</sup> 取目板	
9mm	3,274	20mm	56	計		25		6.8		スパイキ	
25	258	25	210	形鋼計		11,661		10		トラツク	
38	22	30	93	條鋼合計		18,329		25		ボールド	
40	21	40	222	線材の部						ナツト	
44	19	45	105	線材				計		計	
50	270	50	779	5.5mm		5,437		耳付鋼板		計	
55	43	65	822	計		5,437		4.5mm		軌附合計	
60	82	75	423	製釘材				6		其他鋼材の部	
65	35	90	923	5.5mm		1,890		8		外輪	
70	6	100	69	計		1,890		9		車軸	
75	13	計 3,702		線釘合計		7,327		12		鋼線	
80	6	<b>不等邊山形鋼</b>		鋼板の部				19		不定尺	
85	5	mm mm		鋼板(0.7mm以下)				20		板在庫	
90	322	75×50	515	B.W.G.No.				22		不良板	
95	6	90×60	25	33		18		23		耳付板	
100	4	90×75	335	31		14		25		ボルト	
計	4,386	90×75	335	30		169		25		ナツト	
<b>角鋼</b>		100×75	1,045	29		5		25		リベット	
9mm	4	125×75	267	heets		169		26		計	
12	61	125×90	96	13		925		26		鍛成品	
16	407	150×90	124	7		22		27		普通鋼	
19	87	150×100	1,118	計		2,792		27		電氣爐鋼	
22	28	4'×3½"	40	鋼板(0.7mm超)				27		計	
25	29	5×4	34	1mm		258		27		其他鋼材合計	
28	8	計 3,599		1.2		17		27		鋼材總計	
32	13	<b>溝形鋼</b>		1.4		39		27		鉄	
38	18	mm mm		1.5		5		27		鐵	
計	655	125×65	24	1.6		1,960		27		本所	
<b>平鋼</b>		230×80	182	1.85		17		27		洞ケ	
19mm	332	230×90	113	2		24		27		戸	
22	139	250×90	268	2.1		2		27		計	
25	103	300×90	241	2.3		707		27		合金鐵	
32	23	5'×2½"	393	2.4		2		27		フエロ	
65	11	6×2½	168	2.5		7		27		シリコン	
75	60	6×3	129	2.9		47		27		計	
90	141	8×2½	92	3		32		27		鋼塊	
100	107	8×	44	3.2		686		27		普通鋼塊	
115	2	8×3½	172	3.5		14		27		電氣爐鋼	
117	183	計 1,821		3.6		1		27		塊	
125	392	<b>工形鋼</b>		4		94		27		塊	
計	1,493	mm mm		4.5		56		27		塊	
<b>帶鋼</b>		100×75	22	5		20		27		塊	
B.W.G mm		125×75	115	5.5		9		27		塊	
13×64	13	150×125	173	計		231		27		塊	
14×82	36	180×100	4	鋼板合計		15,790		27		塊	
15×67	13	200×100	217	軌條の部				27		塊	
16×82	28	200×150	308	軌				27		塊	
16×92	17	230×100	176	條				27		塊	
16×2½	14	250×125	553	計		6,680		27		塊	
16×3	13	300×150	188	編鋼板				27		塊	
計	134	350×150	107	6.2mm		4		27		塊	
<b>棒鋼計</b>	<b>6,668</b>	18'×7"	322	4.5		67		27		塊	
		20×7½	324	6		111		27		塊	
				8		33		27		塊	
				9		16		27		塊	
				9		9		27		塊	
				計		231		27		塊	
				計		12,878		27		塊	

鋼材統制機關一覽表

(昭和六年三月卅一日現在)

年五和昭 月十	統 賣 販						統 産 生		備 考	
	月八年五和昭	月三年六和昭	月十年五和昭	月二年六和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月一年十和昭	月四年四和昭		月六年五十五正六
材線	合組販共板中		合組販共板厚本		合組販共鋼形山型小		合組販共鋼形山型中		合組販共鋼形山型大	
製神 月 鐵 鋼 所	製東 海 鋼 業 株 式 會 社		製東 海 鋼 業 株 式 會 社		製東 海 鋼 業 株 式 會 社		製東 海 鋼 業 株 式 會 社		製東 海 鋼 業 株 式 會 社	
板	鋼		鋼		鋼		鋼		鋼	
販定の材 質及生 産同	販定の材 質及生 産同		販定の材 質及生 産同		販定の材 質及生 産同		販定の材 質及生 産同		販定の材 質及生 産同	
1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.	
年六昭 月十	近月八年六和昭		近月五年六和昭		近月五年六和昭		近月十年十和昭		近月五年五和昭	
水事 務所	川崎 造 船 製 鐵 工 場		東 海 鋼 業 株 式 會 社		東 海 鋼 業 株 式 會 社		東 海 鋼 業 株 式 會 社		東 海 鋼 業 株 式 會 社	



昭和6年2月中當所品種寸法別生産高 (其の二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>鋼片</b>		<b>シートバー</b>		短層	尺鋼	926					
内部向	41,139	内部向	6,065			860					
外部向	2,044	外部向	5,774								
<b>計</b>	<b>43,183</b>	<b>計</b>	<b>11,839</b>	<b>計</b>		<b>1,786</b>					

昭和6年1月民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	28mm	620	95mm	159	角	鋼	平	鋼		
6mm	214	32	262	100	178	9mm	10	38mm	85		
8	40	34	8	112	54	12	8	44	35		
9	153	36	86	其他	263	19	10	50	106		
11	2	38	105			22	9	57	18		
12	3,263	42	185			29	9	65	89		
16	2,738	44	196			32	1	其他	19		
19	2,403	48	45			50	2	計	352		
22	1,893	50	61					總計	16,097		
25	1,982	55	57	計	15,696	計	49				
		85	729								

昭和6年3月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品種\區分		神戸	大阪	横濱	3月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
丸	鋼	295	216	117	628	333	1,395	10,487
角	鋼	35	22	25	82	5	141	1,149
平	鋼	164	—	5	169	136	479	4,916
等	山	—	—	3	3	—	3	5,051
不	山	—	—	5	5	—	107	2,999
溝	形	2	—	—	2	—	61	2,395
工	形	—	2	52	54	71	521	5,679
鋼	板(0.7mm超)	113	85	239	437	517	947	19,934
板	”(0.7mm以下)	576	1,107	9	1,689	1,448	3,538	10,290
鋼	力	483	233	1,166	1,882	2,208	6,401	18,347
軌	條	—	—	—	—	230	333	5,704
線	材	2,712	811	1,016	4,539	5,991	13,431	16,938
シ	パイ	—	—	1,313	1,313	966	3,145	7,127
ト	管	84	74	211	369	805	1,867	10,011
鋼	他	176	54	98	331	306	1,109	7,473
其		4,643	2,604	4,256	11,503	12,816	33,478	128,500
計								
硫	炭	7,972	—	5,946	13,918			
石	安	30	—	2	32			
ナ	酸	98	—	14	112			
ク	ソ	36	—	—	36			